

平成 29 年度 五所川原市男女共同参画講演会
イクボスのススメ～部下も自身も輝くイクボスをめざそう!～
■■■ 事業報告 ■■■



日 時 平成 29 年 10 月 5 (木) 午後 6 時 30 分
場 所 五所川原市民学習情報センター 視聴覚室
参加者 22 名

【講 師】 NPO 法人ファザリング・ジャパン東北
理事 齊藤 望 氏

【プロフィール】 1971 年平川市生まれ。

弘前市と仙台市に事務所を置く NPO 法人の理事を務め、子供を真ん中に置いた子育て支援と良い父親よりも笑っている父親を増やす父親支援を進めている。

イクボスの手法や実例を学び、ワーク・ライフ・バランスをどのように実現すればよいか、経営者・管理職に求められることは何かについて理解を深めるため、「イクボスのススメ～部下も自身も輝くイクボスをめざそう!～」を開催し、22 名の方が参加しました。

● ■ ○ □ ● ■ ○ □ ● ■ ○ □ ● ■ ○ □ ● ■ ○ □ ● ■ ○ □ ● ■ ○

講演では、イクボスの責務

- ① 部下のワーク・ライフ・バランスとキャリアを応援すること
- ② 時間生産性を高めて組織目標を達成すること
- ③ 自分のプライベートと社会活動を充実させること

の 3 つが求められるお話から、時間生産性を高めるには、メール、会議、資料の 3 つの時間泥棒を改善することや、職場でのコミュニケーションが大切であることなど、イクボスの実践に向けた具体的なお話まで大変わかりやすく、ためになるお話がされました。

《 感 想 》

— アンケートから一部抜粋 —

- ・官民間わず広まっていけばいいと思います。
- ・今日の研修の「言葉」の実践。イクジイになって地域のために活動したい。
- ・職場で共有できたらいいですね。
- ・少子化対策につながるのだと感じます。
- ・自分はまだ独身で出産の経験もありませんが、自分がそういうライフステージにたったとき、自分に部下ができたときのためにとても参考になりました。
- ・本当に大事なのはコミュニケーションだと思いました。自分の立場を分かり、中立で考えることも必要かなとも思いました。一歩遅れて違う方向から見れる自分でいたいと考えています。

部下やスタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績と結果を出しつつ、自らも家庭も仕事も楽しむことができるイクボスは、すべての職場で実践できることが理想です。一人ひとりがイクボスの意識を持つことによって、男女共同参画社会の実現にも近づいていくのではないのでしょうか。